

V15a 東アジア中口径望遠鏡天文台計画

佐藤修二、栗田光樹夫、長田哲也(名古屋大理)、姚永強、劉彩品、禪野孝広(紫金山天文台)、吉田道利、海部宣男(国立天文台)、EAMA-IRTメンバー

10年にわたって組織運営されてきた東アジア天文学会合 EAMA はその具体化の嚆矢として、IRT 計画を EAMA-IRT-core グループを組織して推進することを決定した。IRT 計画は、中口径の望遠鏡を東アジア地域の観測好サイトに、共同建設し、運営することである。

- 1) 指針
 - a) 東アジア諸国共同でアジアの好サイトに建設、研究を行う。
 - b) 東アジア地域で調達できる望遠鏡と装置で建設する。
 - c) 狙いを絞ったサイエンスを行う。

- 2) 仕様
 - 波長域 主として $0.7 \sim 5 \mu\text{m}$ ($0.35 \sim 10 \mu\text{m}$)
 - 望遠鏡 鏡:口径 2.5m F比 < 2.5 合成 F比 ~10 架台:経緯台
 - 観測装置 初期: 1) TRISPEC 2) CAS-Cam 3) 国際共同開発

3) 天文学の目標

- a) Spectropolarimetric monitor of AGNs and YSOs and sporadic phenomena
- b) Polarimetric Imaging Survey of Star forming regions

4) サイト

良いサイト (seeing < ~1") を選定する 1) 圭先大坂(新疆) 2) 冷湖(青海) 3) 興隆(北京)
2002 サイト調査準備 2003 サイト実地調査 2004 決定 2005 天文台建設